

**製品名:  $\beta$ I チューブリン (1H10) マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM00879**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください (12 ヶ月有効)。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200
分子量	Calculated MW: 50 kDa; Observed MW: 50 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	TUBB1
別名	beta I tubulin; TBB1; TUBB1; Tubulin beta 1; Class VI beta tubulin
遺伝子 ID	81027
SwissProt ID	Q9H4B7
免疫原	ヒト $\beta$ I チューブリンの合成ペプチド

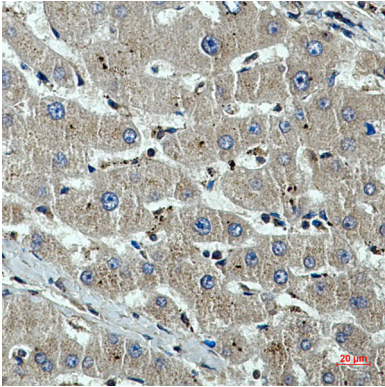
**背景**

チューブリンは微小管の主成分です。チューブリンは 2 モルの GTP を結合します。1 つは  $\beta$  鎖の交換可能部位、もう 1 つは  $\alpha$  鎖の非交換性部位です (類似性による)。

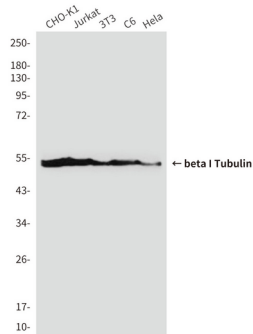
## 研究分野

シグナル伝達

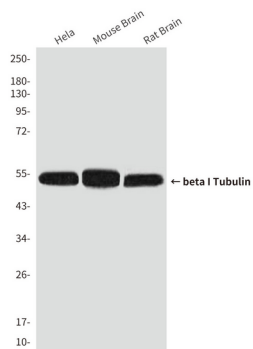
## 画像データ



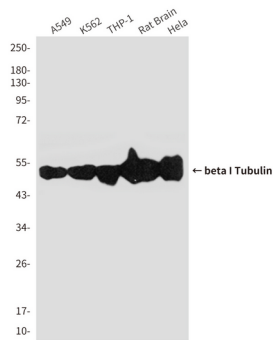
βIチューブリン (1H10) 抗体を使用した、ヒト肝臓癌におけるパラフィン包埋βIチューブリンの免疫組織化学分析。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



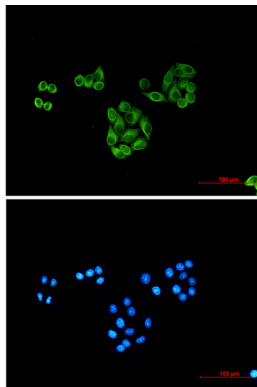
CHO-K1、Jurkat、3T3、C6、Hela ライセート中のβIチューブリン (1H10) 抗体を用いたウェスタンブロット分析



βIチューブリン (1H10) 抗体を用いたHela、マウス脳組織、ラット脳組織ライセート中のβIチューブリン (1H10) のウェスタンブロット分析



ベータ I チューブリン (1H10) 抗体を使用した、A549、K562、THP-1、ラット脳、Hela 溶解物中のベータ I チューブリン (1H10) のウエスタンブロット分析。



Hela 中の  $\beta$ I チューブリン (1H10) (緑) の  $\beta$ I チューブリン (1H10) 抗体および DAPI (青) を用いた免疫細胞化学分析